

縮減 対策

平成 16 年度岩手県における 公共工事コスト縮減対策の結果！

公共工事の実施にあたっては、良質の社会資本をより安く県民に提供するため、「公共工事コスト縮減対策岩手県新行動計画」(平成 13 年 10 月)に基づき、コスト縮減対策に取り組んでいます。平成 16 年度の公共工事コスト縮減対策の実績をとりまとめた結果、コスト縮減率は 9.8% (コスト縮減額：87 億円) となりました。

平成 17 年度は、より一層公共工事のコスト縮減対策に努め、目標であるコスト縮減率 10%の達成を目指します。

1. 「公共工事コスト縮減対策岩手県新行動計画」について

(1) 計画期間 平成 13 年度～平成 20 年度

(2) 縮減目標

平成 8 年度の標準的な工事コストと比較して、10%のコスト縮減率を達成します。

(目標年次：平成 17 年度)

(3) コスト縮減にあたっての基本的な視点

①工事コストの低減

工事の計画や設計の見直し、技術基準の見直し、新技術の採用、積算の合理化など

②工事の時間的コストの低減

集中投資による機能の早期発現、他事業との連携による機能の早期発現など

③ライフサイクルコストの低減

施設の長寿命化、施設の省資源・省エネルギー化、クリーンエネルギーの活用など

※ライフサイクルコスト：構造物の計画、設計から建設、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる費用のこと。

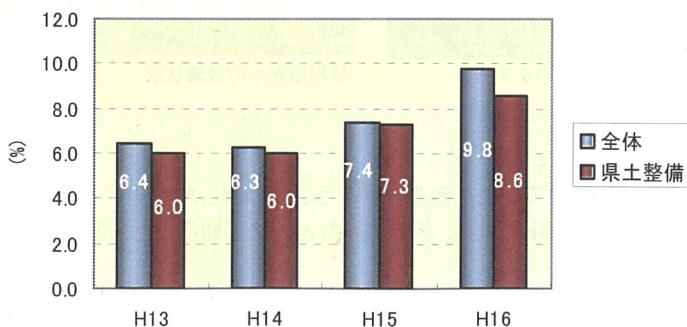
④工事における社会的コストの低減

リサイクルの推進、工事による環境負荷の低減、工事中の安全対策など

⑤工事の効率性向上による長期的コストの低減

工事に関する規制改革、工事情報・手続きの電子化など

2. 平成16年度のコスト縮減実績について



		農林水産部	県土整備部	計
H16	対象工事費 (億円) ①	247.5	548.8	796.3
	減少額 (億円) ②	35.3	51.4	86.7
	縮減率 (%) ②/(①+②)	12.5	8.6	9.8
H15	縮減率 (%)	7.6	7.3	7.4
H14	縮減率 (%)	6.8	6.0	6.3
H13	縮減率 (%)	7.0	6.0	6.4

平成16年度のコスト縮減対策の主な事例

1. 計画手法の見直し

- 周辺の他事業(ほ場整備と河川改修等)と連携して効率的に工事を進め、コストを縮減しました。
- 道路補修工事に併せて下水道工事を行い、安価な埋設工法の採用等により、コストを縮減しました。
- 既設の作業路を工事の仮設道路として利用し、コストを縮減しました。
- 側溝、ガードレール等の既存施設を有効に利用できるよう計画を見直し、コストを縮減しました。

2. 技術基準等の見直し

- パイプラインの埋設深さを浅くし、コストを縮減しました。
- 路盤構成、凍上防止工の見直しを行い、コストを縮減しました。
- 林道の技術基準を改正(カーブ拡幅量、ステップ幅の縮小)し、土工量等を減らし、コストを縮減しました。
- 消波ブロック等に用いる生コンクリートの規格を改定し、ブロックの製作費を縮減しました。
- ダム基礎地盤処理に関する技術基準の改定に併せ、処理方法等を見直し、コストを縮減しました。

3. 設計方法の見直し

- 農業農村整備において、岩手らしい整備手法・整備基準を定め、アスファルト舗装の摩耗層の廃止等のコスト縮減を行いました。
- 現場発生材(フリューム等)を積極的に活用できるように設計を見直し、コストを縮減しました。
- パイプラインを路肩部分に埋設し、舗装復旧費を縮減しました。
- 擁壁等のプレキャスト化を推進し、施工を省力化し、コストを縮減しました。
- 木製土留工等の木材利用工法を採用し、コストを縮減しました。
- 漁港の船揚場において、既設の滑り材の有効利用を図り、コストを縮減しました。
- 波力を低減する構造の防波堤(スリットケーソン)を採用して消波ブロックを不要とし、コストを縮減しました。
- 橋の設計において、上部構造の軽量化(合成床版の使用等)を図り、コストを縮減しました。

4. 技術開発

- 暗渠排水工に、疎水材の設置と管路の埋設を同時に行うドレンレイヤー工法を採用し、施工を省力化し、コストを縮減しました。
- 鋼製擁壁を採用し、施工を省力化し、コストを縮減しました。
- 歩車道境界ブロックと側溝蓋が一体となった製品を使用することにより、施工を省力化し、コストを縮減しました。

5. 建設副産物対策

- 再生アスファルトや再生砕石を使用して、材料費を縮減しました。
- 現場で発生した抜根材を粉砕し緑化材に活用することにより、材料費等のコストを縮減しました。
- 現場で発生した残土を近傍の工事へ有効利用し、運搬費等のコストを縮減しました。
- 撤去した防波堤コンクリートを漁場ブロックとして再利用し、ブロックの製作費等のコストを縮減しました。

6. ライフサイクルコストの低減

- 橋桁材に耐候性鋼材を使用し、ライフサイクルコストを低減しました。
- 橋の鋼材の塗装について、耐久性に優れた材料を使用し、ライフサイクルコストを低減しました。
- トンネル内の照明に長寿命のランプを使用し、ライフサイクルコストを低減しました。